

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2017年第2号(週報・月報合併号)

2017年第2週(1月9日~1月15日)、月報2016年12月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

—インフルエンザ：和歌山市、岩出保健所管内で注意報レベル！！—

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。

今週の和歌山県全体定点当たり患者報告数は9.90人(前週：5.78人)と増加しました。

保健所別では、和歌山市保健所管内が16.73人(前週：6.33人)、次いで岩出保健所管内が11.17人(前週：5.33人)となっており、注意報レベルとなっています。

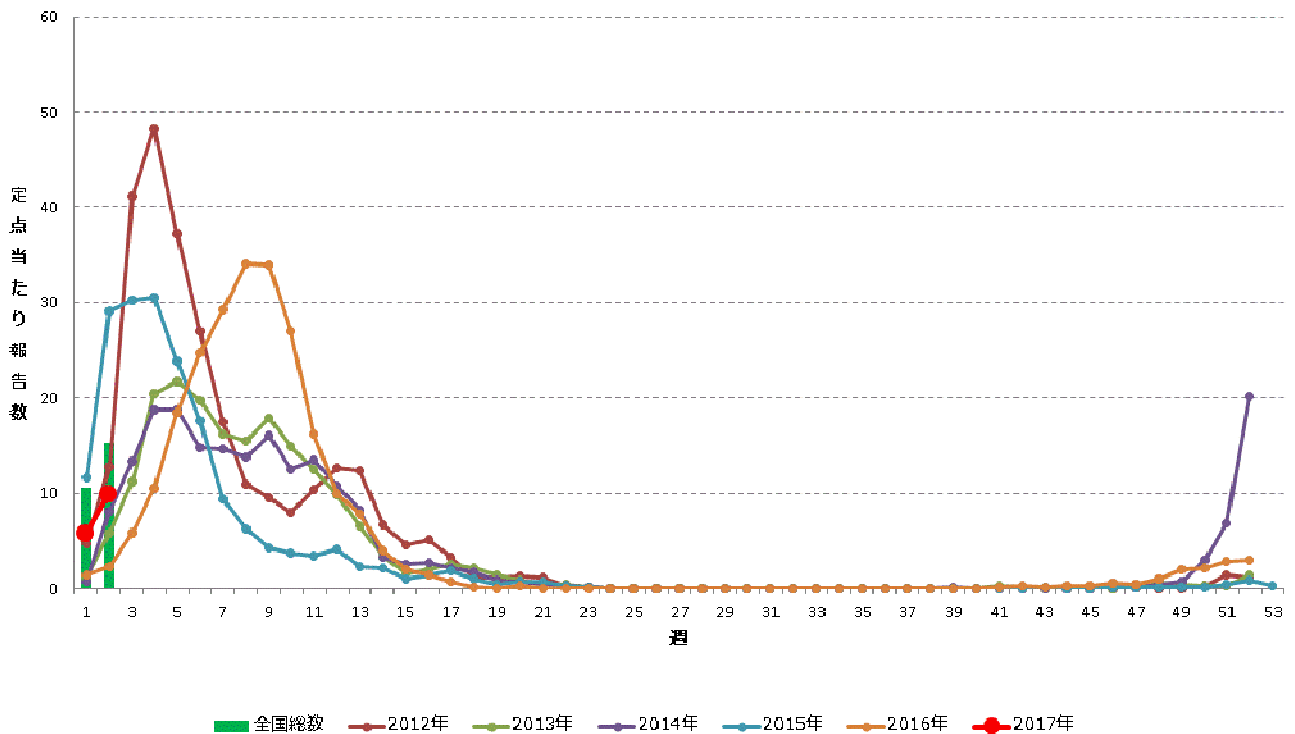
全国的にも患者報告数は15.25人(前週：10.60人)と増加しています。

今後さらに患者報告数が増加することが予想されますので注意してください。

感染を予防するために、ワクチンを接種し、うがい・手洗いの励行、マスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。

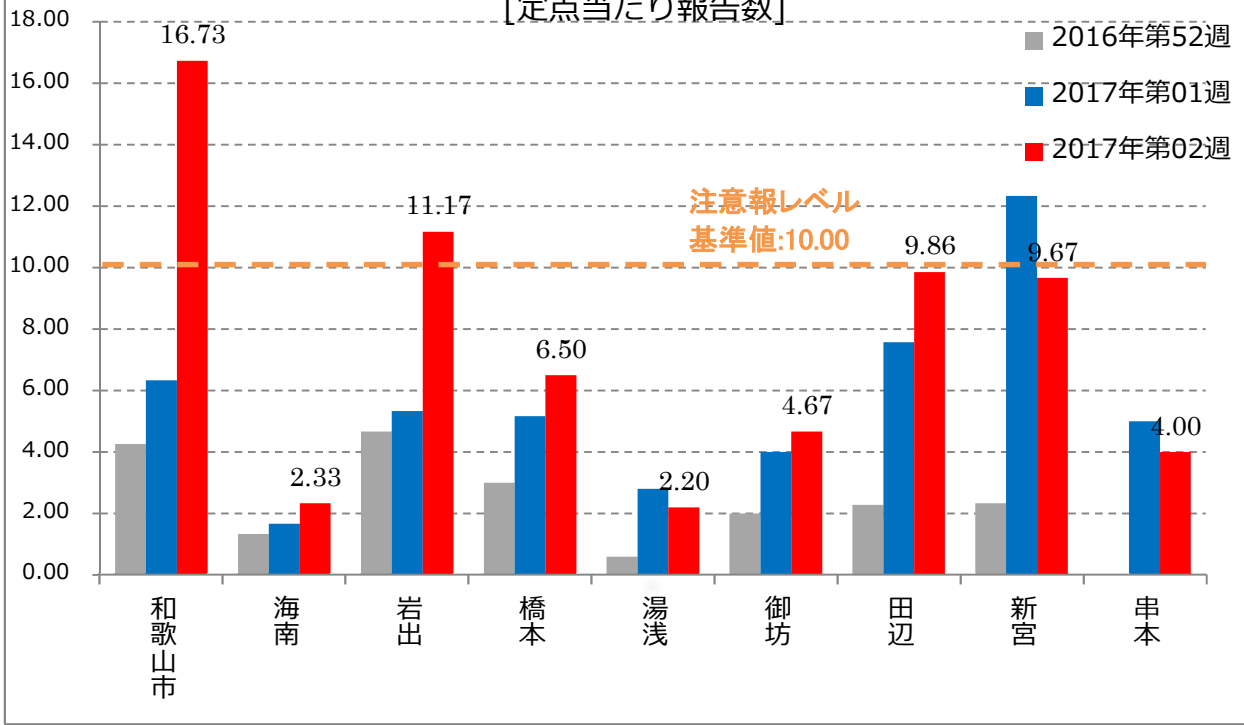
インフルエンザに関するQ&A(平成28年度版)はこちら：厚生労働省HP
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html>

インフルエンザ(和歌山県感染症情報センター)
定点当たり報告数グラフ



インフルエンザ-管内集計区分別

[定点当たり報告数]



－流行性耳下腺炎：岩出、橋本保健所管内で警報レベル！－

流行性耳下腺炎は「おたふくかぜ」ともよばれ、主に2～5歳の子どものがかかる感染症です。ムンプスウイルスが原因で、2～3週間の潜伏期間を経て耳下腺の腫脹・疼痛、発熱などの症状がみられます。

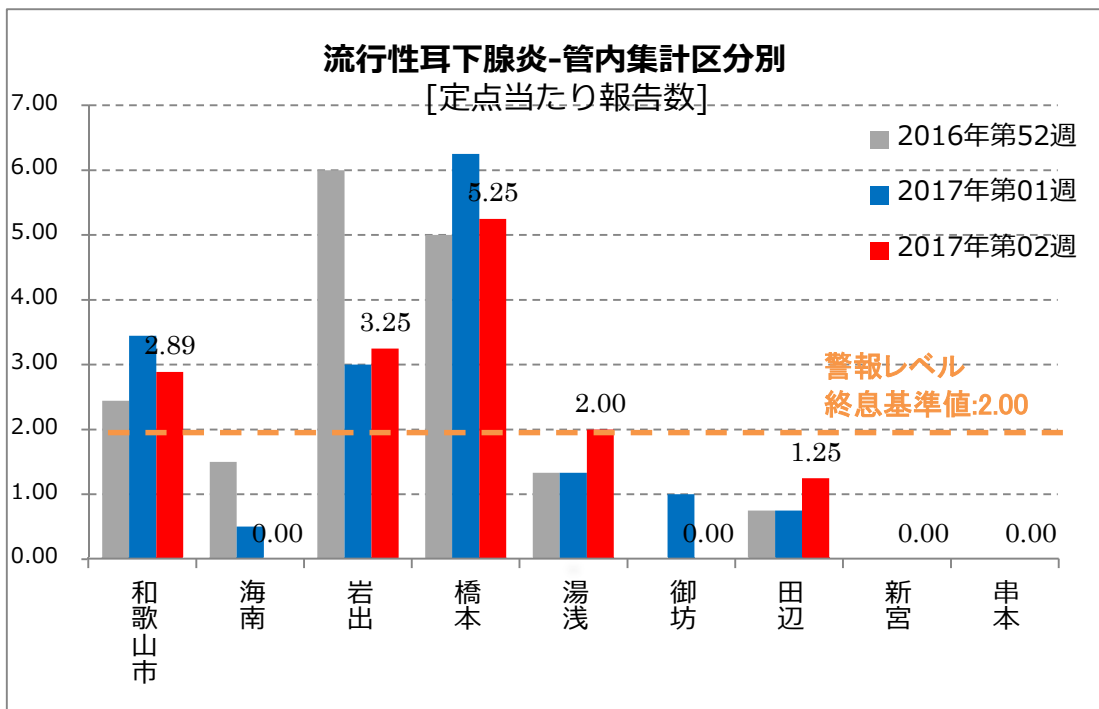
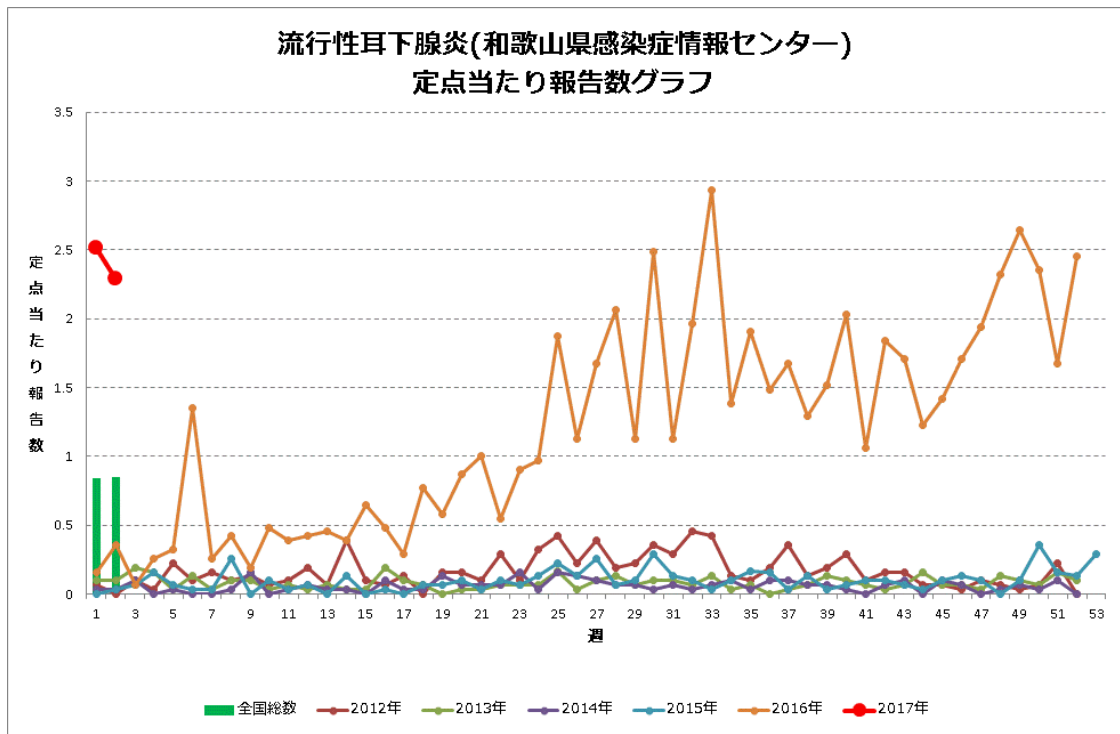
和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、2.29人（前週：2.52人）と減少しましたが、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況となっています。

保健所別では、岩出保健所管内が3.25人（前週：3.00人）、橋本保健所管内が5.25人（前週：6.25人）となっており、警報レベル終息基準値を上回っているため警報レベルが継続しています。

全国の定点当たり患者報告数は0.85人（前週：0.84人）と増加しています。

主な感染経路は、上気道を介した飛沫感染や接触感染であり、感染力が強いです。感染予防にはワクチンが有効です。

流行性耳下腺炎に関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/529-mumps.html>



－感染性胃腸炎：県全体の患者報告数は増加！－

感染性胃腸炎は細菌やウイルス等を原因とする下痢、嘔吐を主症状とする感染症です。特に秋から春先にかけて患者報告数が多くなり、この時期はノロウイルスやロタウイルスが主な原因です。

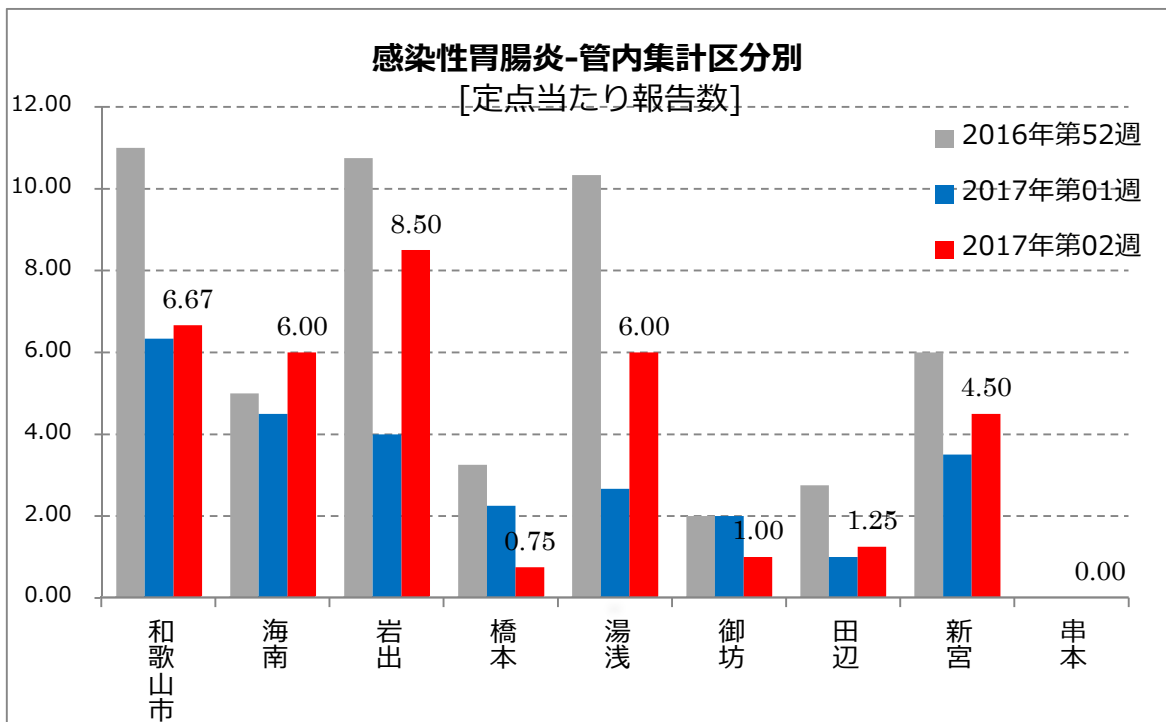
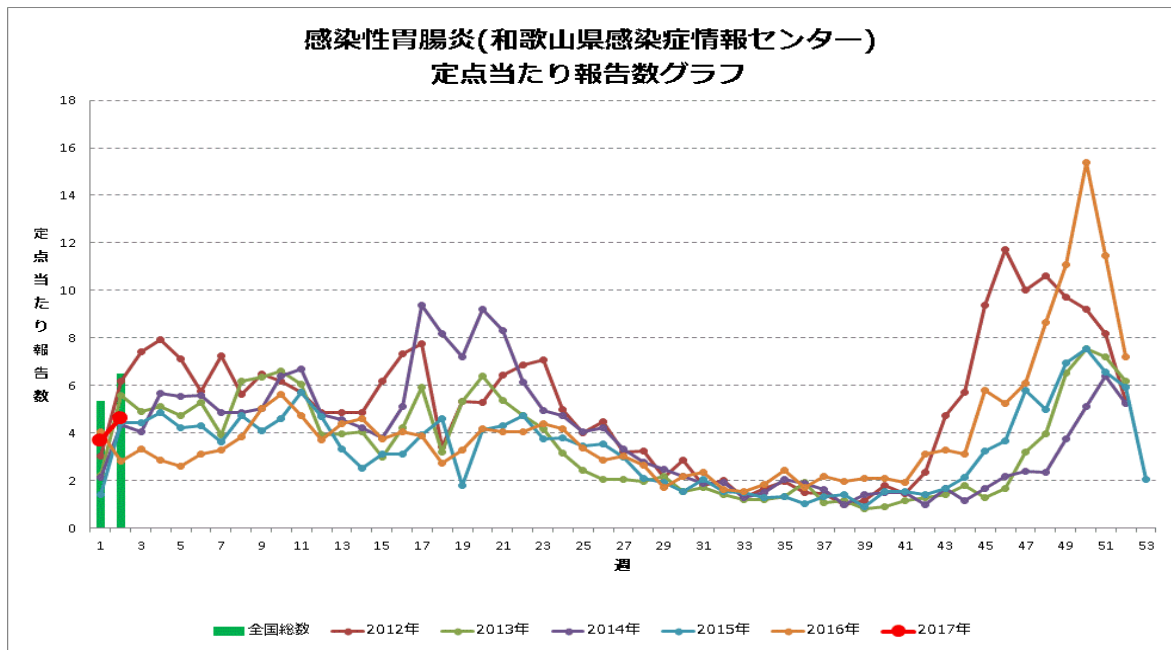
和歌山県全体の定点当たり患者報告数は4.61人（前週：3.68人）と増加し、過去5年間の同時期に比べやや多い状況です。今後患者報告数が増加していくことも予想されますので注意してください。

保健所別にみると、岩出保健所管内が8.50人（前週：4.00人）と最も多く、次いで和歌山市保健所管内が6.67人（前週：6.33人）となっています。

全国的には患者報告数は6.48人（前週：5.33人）と増加しています。

ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物を処理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎の詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>



定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 4名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：報告はありませんでした。
- 5 類感染症：報告はありませんでした。

(2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	5

◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

- 流行性耳下腺炎（岩出、橋本保健所管内）
- 急性出血性結膜炎（田辺保健所管内）

注意報レベル

- インフルエンザ(和歌山市、岩出保健所管内)

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	495	-	6	17	34	31	22	44	25	33	21	20	89	20	27	29	17	29	11	14	6
	定当	9.9	-	0.12	0.34	0.68	0.62	0.44	0.88	0.5	0.66	0.42	0.4	1.78	0.4	0.54	0.58	0.34	0.58	0.22	0.28	0.12

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	14	-	8	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.45	-	0.26	0.16	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	9	-	2	2	1	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-
	定当	0.29	-	0.06	0.06	0.03	0.06	0.03	-	-	-	-	0.03	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	12	-	-	-	2	3	1	1	1	-	4	-	-	-	-
	定当	0.39	-	-	-	0.06	0.1	0.03	0.03	0.03	-	0.13	-	-	-	-
感染性胃腸炎	報告	143	-	4	18	14	19	23	7	16	5	7	6	16	5	3
	定当	4.61	-	0.13	0.58	0.45	0.61	0.74	0.23	0.52	0.16	0.23	0.19	0.52	0.16	0.1
水痘	報告	13	1	-	-	1	2	2	2	1	1	2	1	-	-	-
	定当	0.42	0.03	-	-	0.03	0.06	0.06	0.06	0.03	0.03	0.06	0.03	-	-	-
手足口病	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-
伝染性紅斑	報告	4	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-
	定当	0.13	-	-	-	0.03	-	-	0.03	-	-	0.06	-	-	-	-
突発性発しん	報告	10	-	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.32	-	0.16	0.1	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	71	-	-	3	4	13	7	9	12	9	5	-	9	-	-
	定当	2.29	-	-	0.1	0.13	0.42	0.23	0.29	0.39	0.29	0.16	-	0.29	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	251	7	67	39	11	14	69	29	8
	定当	16.73	2.33	11.17	6.5	2.2	4.67	9.86	9.67	4
RSウイルス感染症	報告	4	-	4	2	3	1	-	-	-
	定当	0.44	-	1	0.5	1	0.5	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	2	-	2	1	-	1	-	3	-
	定当	0.22	-	0.5	0.25	-	0.5	-	1.5	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	3	-	1	1	3	1	1	2	-
	定当	0.33	-	0.25	0.25	1	0.5	0.25	1	-
感染性胃腸炎	報告	60	12	34	3	18	2	5	9	-
	定当	6.67	6	8.5	0.75	6	1	1.25	4.5	-
水痘	報告	10	-	1	1	-	-	1	-	-
	定当	1.11	-	0.25	0.25	-	-	0.25	-	-
手足口病	報告	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	1	-	-	1	-	-	-	2	-
	定当	0.11	-	-	0.25	-	-	-	1	-
突発性発しん	報告	3	4	-	-	2	1	-	-	-
	定当	0.33	2	-	-	0.67	0.5	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	26	-	13	21	6	-	5	-	-
	定当	2.89	-	3.25	5.25	2	-	1.25	-	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	1	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	1	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	1	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	1	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	1	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	0.33	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	2	…	-	-	-	3	-	-	…
	定当	0.67	…	-	-	-	3	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

2016年12月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が2.18人(先月:1.82人)となっています。メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症で患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約71%となっています。

【2016年12月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳~
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	24	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	3	1	17
	定当	2.18	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	0.09	-	0.09	-	0.27	0.09	1.55
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症報告 (WIDR) 2017年第2号

発行日：平成 29 年 1 月 19 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。